

かほろ おおいた 版

大分MSW広報誌 Vol. 34

<発行元>

大分県医療ソーシャルワーカー協会

平成23年11月4日 発行

『チーム士（サムライ）』3回目のリレーフォーライフに参加！！
～24時間タスキをつなぎました～

【大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 佐藤 博文】

今年も理学療法士協会とともにチーム『士』（サムライ）を結成し、総勢約100名（内当協会は30名）で24時間タスキをつなぎました。当日は快晴、夜間は大変冷え込みましたが、会長特製のにんにく玉入りスタミナカレーや協会員の皆さんからのお漬物、おにぎり、お菓子などなどの差し入れで参加者は元気をいただきながら歩き続けることができました。

がん患者さんの何かお役に立ちたいと、3年前に結成されたチーム『士』（サムライ）。その名称は、野上会長の提案でお互いの国家資格の『士』をとって名付けられました。私は初参加の時から係を務めさせていただいていますが、年々参加人数も増え、関心も高まっていることを感じます。私の願いは、MSWが、今以上に患者さんとそのご家族にとって身近な存在となり、なくてはならない職種、団体になっていくことです。そのためには、学習や研究はもちろんですが、当事者である患者さん自身から学ぶことも必要であると考えます。その機会の一つになるのがこのリレーフォーライフなのかもしれません。来年度以降は、ネットワーク推進部により運営される予定ですが、これまでできなかった、患者さんに関わる企画や触れ合える機会を設けていただき、さらに学び多き時間にしていただきたいと思います。今回の参加によって協会として、また、一人のMSWとしてどのようにがん患者支援に関わっていけるか、改めて課題を持つ機会となりました。

必ずだれにも訪れる最期の日、そこに至るまでの大切な日々MSWが関わることで、患者さん、ご家族が充実した日々を過ごせていく。そのためにも、なくてはならないチームメンバーに位置付けられたいものです。どうぞ、これからもがん患者に限らず、すべての方々の幸せ創りのためにも、高い意識をもって協会活動に取り組んでまいりましょう。



研修部からのお知らせ

研修部理事 松尾 美穂

5期目を迎える「大分県医療ソーシャルワーカー協会スーパーバイザー養成講座」を12月より開催いたします。これは協会の中堅者研修として位置付け、経験年数5年以上のMSWを対象に①スーパーバイザーの養成②実習プロセスの研修③スーパービジョンが出来るMSWの養成の3本柱を主軸に講座を開催します。さらに今年度、4期までの修了者も対象とした実習プログラミングシート活用説明会や実践報告会等のフォローアップ研修も企画しています。

過去4年間で36名の講座修了者が大分県MSW協会認定証を受け取り、実習指導等様々な後進育成に取り組んでいます。MSWの専門性確立の為には自分自身の成長と共に学生や後輩に『あるべきMSW像』を伝えていく責務があります。講義ありロールプレイあり涙あり笑いあり、の講座を是非受講し、あなたも中堅者としての証、大分県MSW協会認定証を受け取りましょう。

<研修会報告>

ネットワーク推進部理事 脇坂 健史



『平成 23 年度大分県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修』が 10 月 1 日に竹田医師会病院と 10 月 29 日に済生会日田病院で、それぞれ開催されました。研修会として、はじめに別府大学文学部人間関係学科の林真帆先生より「ソーシャルワークの価値・倫理」の講義が行われ、当協会の野上美智子会長より「ソーシャルワーク実践と組織」、井元/松尾研修部理事より「支援を深める資源について」の講義と続けました。相談援助経験 3 年未満の初任者にとっては相談援助を行う上での基礎的な考え方をしっかりと学ぶ機会となり、中堅者以上の参加者にとっては、改めて相談援助の基本を再確認する場となりました。研修会の後には、参加者が情報交換や親睦を深めるための交流会が行われ、ビンゴゲーム等の楽しいイベントを通じて、参加者全員が日頃なかなか話すことのない他圏域の方々と、たくさんコミュニケーションを取っていました。



今回の研修会は、研修部とネットワーク推進部で共同企画し、これまで協会の研修会が開催されることのなかった豊肥・西部圏域で会場を選定しました。少し移動距離があったにもかかわらず、両会場とも予想を上回る方に参加して頂き、大分県全体で参加者の絆を深めることができましたと思います。参加された皆様、スタッフの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

理事会便り

○理事会報告事項

- 2011.9.27 第 3 回 理事会 : 別府リハビリテーションセンター 9.23 リレーフォーライフ参加
10.1/29 大分県医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修会(竹田医師会病院、日田済生会病院)
10.24 第 4 回 理事会 : 天心堂へつぎ病院

<主な議題>

- ・事務局報告 [9 月 新規入会者 2 名 退会者 1 名/10 月 新規入会者なし 退会者 1 名]
- ・委任状送付、案内状の送付、役員名刺作成、地域肝炎コーディネーター養成講座案内の報告
- ・講師料についての規定、会費未納者についての納入催促について検討
- ・備品購入報告 [IC レコーダー] ※協会活動時に貸し出しをしますので、事務局へご依頼ください
- ・各部会の活動報告 研修部、学術部、広報部、ネットワーク推進部、同時改正ワーキングチーム、その他
- ・全国大会の収益の用途について提案

○理事役動向

- 9.11 九州ソーシャルワーカー協議会研修部会: 甲斐副会長(メートプラザ佐賀)
9.15 大分大学福祉科学講座: 甲斐副会長(大分大学)
10.3 大分県地域リハビリテーション研究会: 割石渉外担当(井野辺病院)
10.11 大分県保健医療団体協議会理事会: 甲斐副会長(作業療法士協会ビル)
10.22 大分県栄養生会生涯教育研修会 シンポジスト: 野上会長(大分市商工会議所)
全国医療ソーシャルワーカー協会会長: 甲斐副会長(東京都、弘済会館)
大分県地域リハビリテーションケア研究大会懇親会: 野上会長、川野事務局長、佐藤副会長
繁田理事、割石渉外担当(オアシスタワー)
10.23 大分県地域リハビリテーションケア研究大会: 松尾理事、割石渉外担当(別府ビーコンプラザ)
10.26 大分大学福祉学講座実行委員会: 甲斐副会長



<事務局>大分県臼杵市大字戸室長谷 1131 番地 1
(臼杵市医師会立コスモス病院
地域医療福祉連携室内)

TEL 0972-62-5883 FAX 0972-62-8404

URL:<http://oita-msw.com/index.html>

Mail:oita-msw@oita-msw.com

<SWのうまいもん・みたもんのコーナー>第 2 回 豊後高田市より

豊後高田市のお勧めスポットは、子どもやカップルで遊ぶなら「トリックアート」、ゆっくり歴史に浸るのであれば「富貴寺・熊野摩崖仏」、ロマンチックを求めるなら「真玉海岸の夕日(特に干潮時)」です。

また食べ物も豊富で、小腹を満たしたいのであれば「金岡のコロッケ」、家族でいくのであれば中華の「雲龍」、高田のお蕎麦をと思うのであれば蕎麦処「響」「ゑつ」、そしてゆったり大人の時間を過ごしたいのであれば「四季彩」(要予約)がお勧めです。ぜひぜひ、豊後高田まで足を運んでみて下さい!! (高田中央病院 杉本MSW)